

司会 ①秋葉兄 ②佐々木伸兄 ③鷺沢兄

奏楽

祈禱 ①川村師 ②久保田兄

十戒

賛美 聖歌480番 (注ぎたまえ主よ)  
(聖霊様、あなたを)

聖書

①② ゼパニヤ書3章14～17節  
③ エゼキエル書37章1～10節

音楽

① ストリーム  
②③ カルバリー聖歌隊&アンサンブル

証詞

① 間 繁幸兄  
② 望月初音姉

メッセージ

①②「ゼパニヤ～神は隠される」 倉知契副牧師  
③「彼らは生き返る」 市橋隆雄先生

賛美

「明日はどんな日か」 (献金)

主の祈り

祝禱

大川牧師

「主なる神はこれらの骨にこう言われる、見よ、わたしはあなたがたのうちに息を入れて、あなたがたを生かす。」  
(エゼキエル三十七の五)

## 石の枕

<奇跡の軌跡> 3

歴史小説家童門冬二さんのことばである。今の時代、一人でリーダーの務めを果たすのは、なかなか難しい。江戸時代では、新幹線も飛行機もなく、京都まで15日かけて歩いた時代です。メールやファクスですぐに片がつく現代と一緒ににはできません。複数の人の能力を同時に発揮する、そういう人物でなければ現代のリーダーとして、もたないと思います。

現代のリーダーシップに必要なものは六つ。先見力、情報力、判断力、決断力、実行力、そして体力です。このうちトップに欠かせないのは、これで行こうと決める決断力。あとは補佐役の仕事です。

日本には誇るべき風土があります。かつて朝鮮半島で高句麗、新羅、百済の3国が戦争を繰り返し、多くの民が日本に逃れて来た。そんな人たちが日本に来ると、けんかをせずに手を結ぶような国土の香りが日本にはありました。

また人間には「風度」というものがあります。中国の古い言葉で、「らしさ」のことです。この人なら協力しよう、この人のためならと思わせる。リーダーには、この風度が必要だと思います。

開拓伝道からの60年間をふり返って、最初の宣教師は他に移り、一代目の牧師は病気で4ヶ月、二代目はご結婚問題で辞任され、折角盛り上がった教会もいつの間にか、力を失った。とても残念、多くの人に惜しまれた。

二代目の婦人牧師は祈りの器だった。十年間で、祈りの教会の基礎をつくって下さった。それが座間教会と大和教会の土台となり、歴史となった。主に感謝！恒見美恵子先生の寄稿文がある。

座間の下宿にあった伝道所は、デコボコ道路に面した二階建ての古い玩具店を借りただけのものだった。早朝から砂利を満載したトラックが、わがもの顔で走り、騒音と振動もさることながらトラックが走る度に、雨の日はドロ水、晴れの日はほこり、しばしば小石がとびガラスが割られるありさまだった。土曜は、たっぷり、四間間口のガラス戸にこびりついているドロとほこり洗いが仕事のひとつだった。

「風土」も「風度」も、「風」で表現されていて面白い。風は聖霊を表すとするなら、どんな環境の変化があっても、ドロやほこりをかぶっても、シロアムの池で、すっかりきれいになって今日の教会があるといつてよい。聖霊様、ありがとう！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:マルコ5章～9章 Bコース:民数記11章～29章

### 【大和ニュース】

- ・ 本日は、ケニアから市橋隆雄宣教師をお迎えできて感謝です。祝福を祈ります。
- ・ 受洗おめでとございます。①中丸一男兄(アブラハム会) \*献児式・中丸誠智くん。
- ・ 本日「洗礼準備会」、アブラハム会、モーセ会、手話会、J.Plus賛美集会等あり。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！説教は菅原岳伝道師。水曜夜と木曜朝。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は大野M主事。すばらしい祈り込みの会です。
- ・ 週末礼拝・Weekend ワークショップは、土曜夕方6時～。説教は坪井永城副牧師。
- \* 「ケズニック東京大会」は淀橋教会にて。3時(ラム師)・5時(カンビル師)  
特にカンビル師は世界的名説教者です。JR大久保駅下車右へ3分。